

菰野町内の地域公共交通に関する町民アンケート 集計結果

実施日 平成 29 年 2 月 22 日～平成 29 年 3 月 24 日

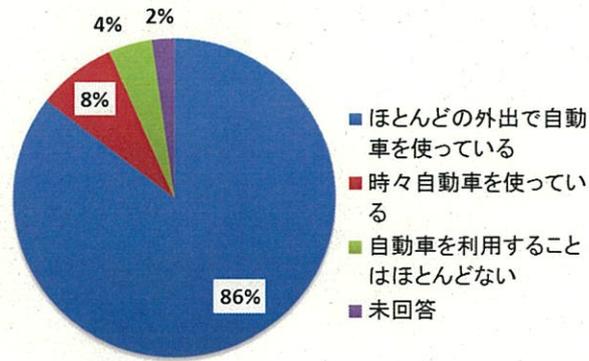
回答数 528 通（発送 1,050 通）

回答率 50.3%

平成 29 年 6 月 23 日

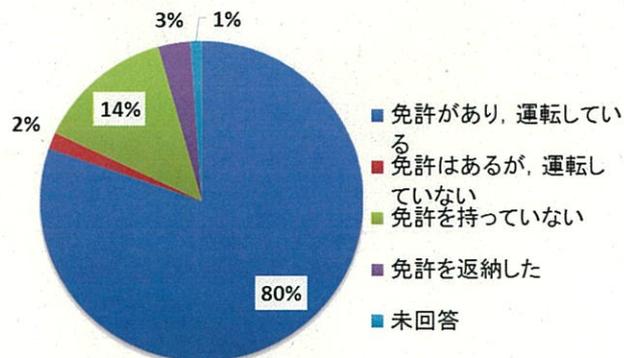
大学 研究室

問 1: 日常的に自動車を利用していますか。(乗せてもらう場合を含む)



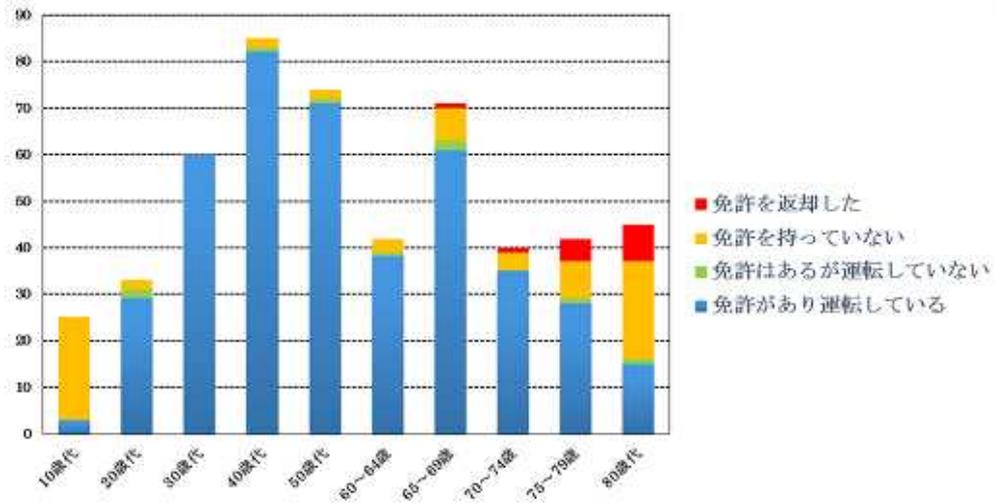
- ・ 9 割以上の回答者が自動車を利用している。

問 2: あなたは普段自動車を運転していますか。



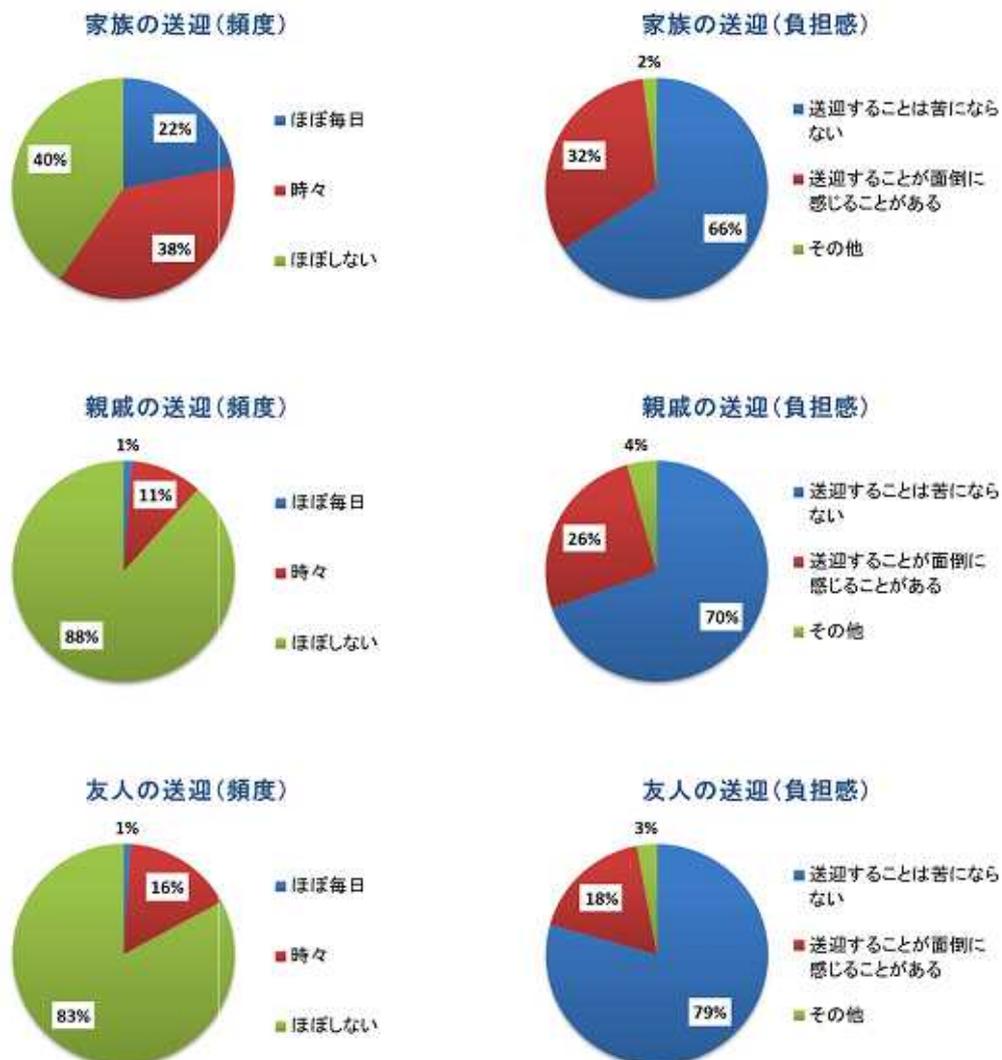
- ・ 約 8 割の回答者が免許を持っている。
- ・ 免許を持っている人のほとんどが運転している。
- ・ 免許を返納した人は 3%である。

年齢別運転状況



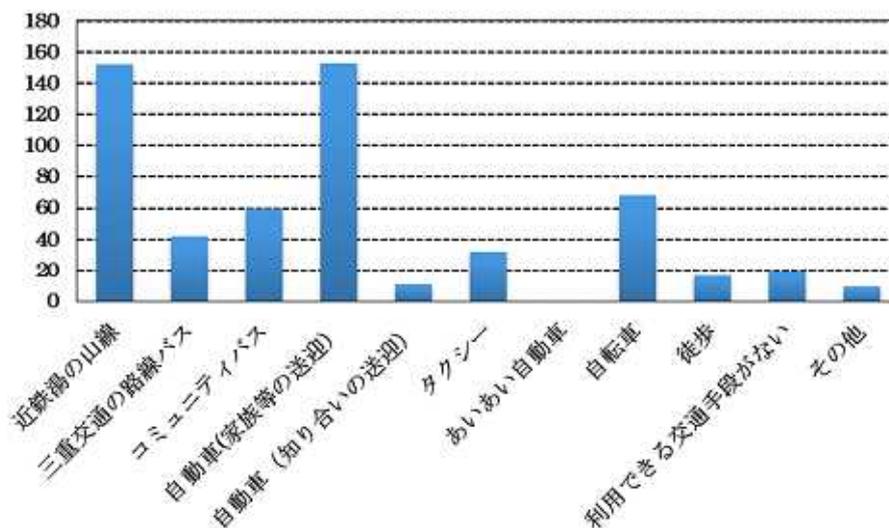
- ・ 80 歳代の人でも免許を返納した人は半分に満たない。
- ・ 80 歳代の回答者のうち 3 割が運転している。

問 3:あなたは家族、親戚、友人などを自動車でどのくらいの頻度で輸送していますか。



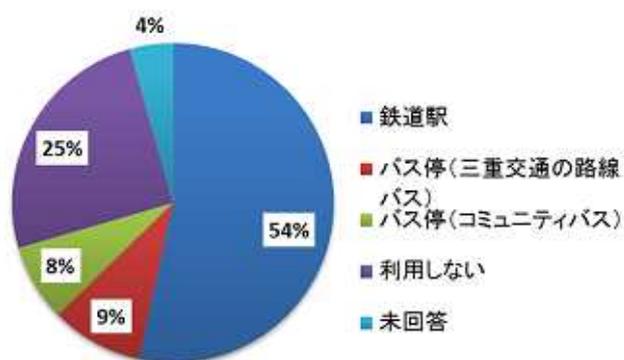
- ・半数以上の方が家族の送迎に携わっている。(うち2割が毎日)
- ・送迎することに関して「面倒に感じる」より「苦にならない」という意見の方が多い。

問 4:あなたが自動車を運転できないとすれば、主に利用を考えている（自動車を運転しない方は、主に利用している）交通手段を教えてください。



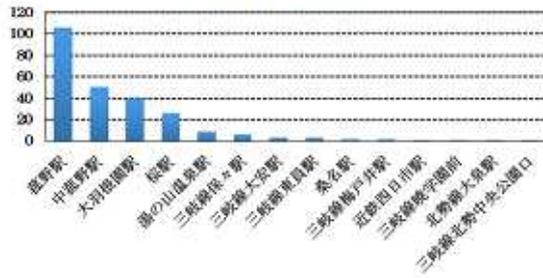
- ・近鉄湯の山線と家族等による送迎が多い。
1つのみの回答であるため、駅まではどうするのかは不明である。
- ・コミュニティバスと自転車を移動手段と考えている人も一定数いる。

問 5:鉄道駅又はバス停のうち、あなたが最も利用する乗場を教えてください

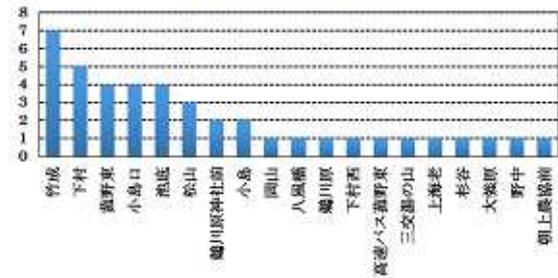


- ・鉄道が過半数を占めていて、路線バス、コミュニティバスは1割である。
- ・利用しない人が4分の1を占める。

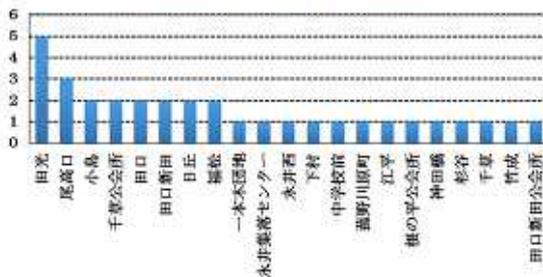
鉄道駅名 (n=252)



路線バス停名 (n=42)



コミュニティバス停名 (n=33)



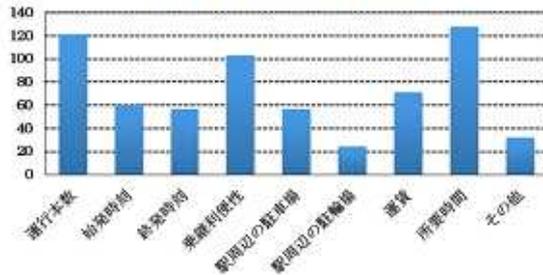
- ・ 湯野駅の利用が多い。
- ・ 近鉄湯の山線の駅が大半を占める。
- ・ コミュニティバスは、駅から離れた朝上・竹永地区での利用が多い。

問 6: 菰野町内にある以下の公共交通の手段別に、利用頻度、現状の満足度、満足な点、不満や利用しない理由を教えてください。

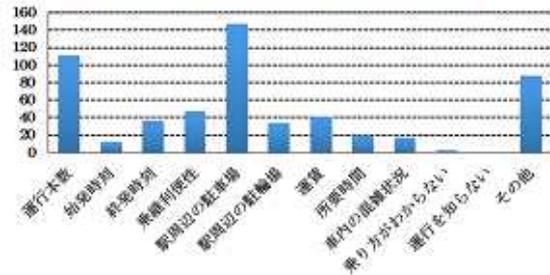


- ・ 近鉄以外は「ほとんど利用していない」が大半を占める。
- ・ 近鉄以外での満足度は低い。

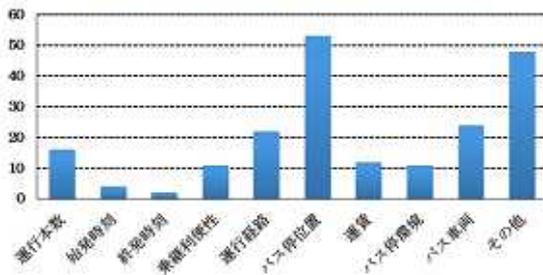
近鉄: 満足な点(複数回答)



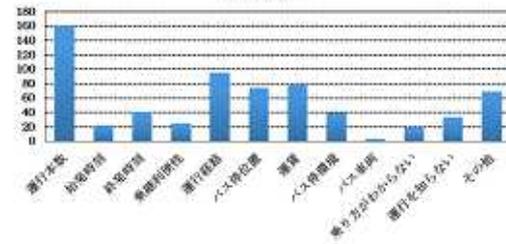
近鉄: 不満や利用しない理由(複数回答)



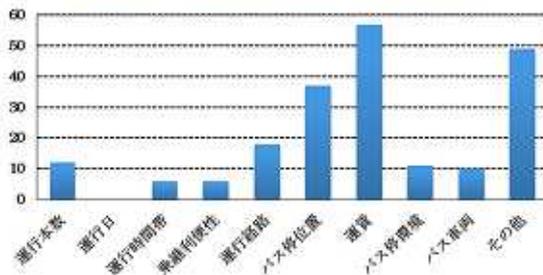
三重交通路線バス: 満足な点(複数回答)



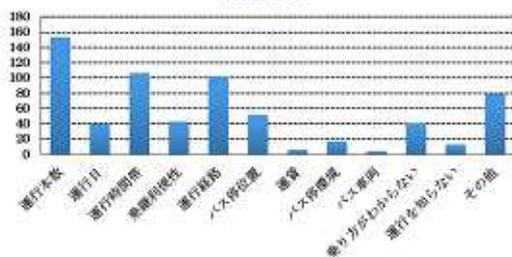
三重交通路線バス: 不満や利用しない理由(複数回答)



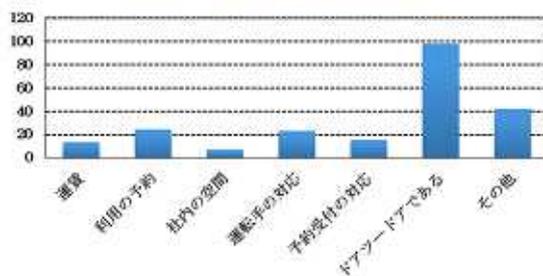
コミュニティバス: 満足な点(複数回答)



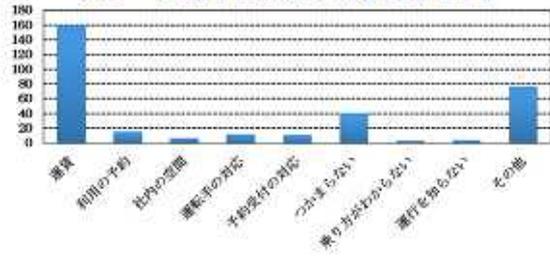
コミュニティバス: 不満や利用しない理由(複数回答)



タクシー: 満足な点(複数回答)



タクシー: 不満や利用しない理由(複数回答)



・路線バスではバス停の位置、コミュニティバスでは運賃、タクシーではドアトゥードアの点で満足であるという意見が多い。

・近鉄では駅周辺の駐車場に関して、路線バス・コミュニティバスに関しては運行本数や経路、タクシーに関しては運賃がそれぞれ不満であるという意見が多い。

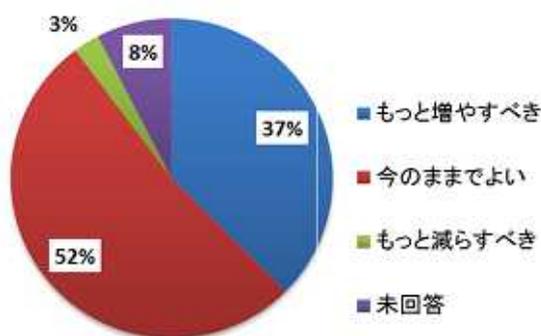
問 7: 菰野町のコミュニティバスは、平成 27 年度で約 55,000 人の利用があり、運行のために町から約 5,300 万円の費用（町民 1 人当たり年間約 1,280 円、利用者 1 人当たり約 964 円）が支出されています。

コミュニティバスの利用料金は、現在、1 乗車当たり 200 円（高齢者、障がい者、小学生は 100 円）となっています。もし仮に料金を高くすると利用者が減り、安くすると町の負担が増える、ということも考えられます。現行の利用料金をどのように考えますか。



・運賃は今のままが良いという意見が多い

問 8: コミュニティバスの路線は全部で 9 路線あり、路線の運行便数は、最大で 2 往復半となっています。路線によっては片道みの運行もあります。便数を増やすと町の負担が増え、逆に便数を減らすと利用者が減る、ということも考えられます。現行の運行便数をどのように考えますか。

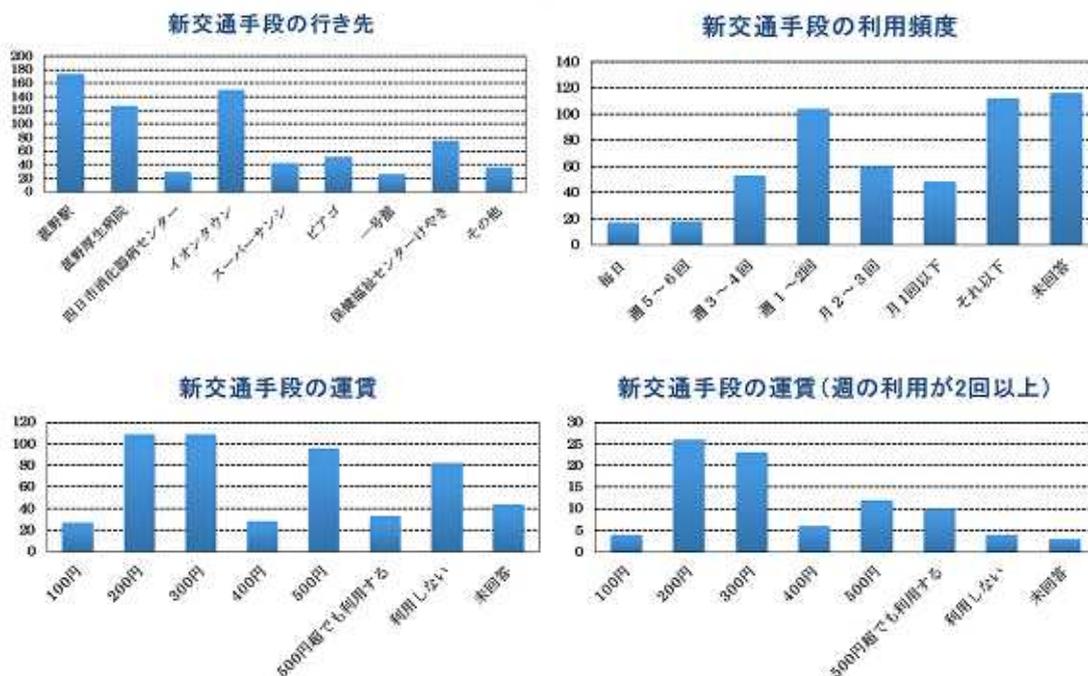


・「今のままでよい」、「増やすべき」、という意見が多い。

問9:路線バスや、コミュニティバスは、路線、便数などに制限があり、タクシーは時間を選ばず利用できますが、運賃はコミュニティバスなどと比較すると高くなります。そこで、仮に、下記のような交通手段ができたとすれば、いくらまでなら乗りますか。また、それを利用してどこほどのくらいの頻度で外出したいですか。

【交通手段】

- ・ 日中(8:00~17:00)の町内の移動に限って利用可(乗り降りの場所は自由)
- ・ タクシーと違い、他の人との乗り合わせによる迂回の可能性あり
- ・ 希望時間から30分前後ずれる可能性あり
- ・ タクシーによる運行を想定。赤字は町負担



- ・ 行先は菰野駅、菰野厚生病院、イオンタウンが非常に多い。
 - ・ 利用しない人も多いが、2割程度の人が週に1~2回利用したいと回答。
 - ・ 運賃は200円、300円、500円という意見が多い。
- 週の利用が2回以上の回答者のみの場合「500円でも利用する」と回答した人の割合は減った。

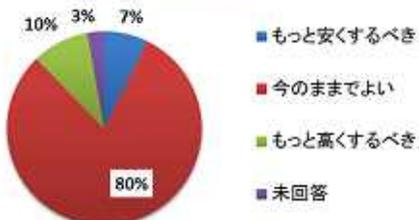
問 10: 菰野町では、高齢者や障がい者の移動手段として大羽根園と川北をモデル区域として、菰野町社会福祉協議会が車両を借り、地域住民が運転手となって町内を運行範囲とし、有償（1乗車当たり15分まで500円、15分以降15分ごとに500円）で運送する「菰野町あいあい自動車事業」を平成28年2月1日から開始しています。



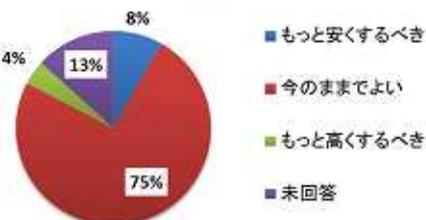
- ・ 特に興味がないという意見が多い。
- ・ 利用者として参加してみたいという意見が2割弱存在する。

運転する人と運転しない人（公共交通の利用可能性が高い）ごとの、コミュニティバスに関する集計（問2と問7,8） 運転しない人とは（免許はあるが運転しない人、免許をもっていない、免許を返納した人を指す）

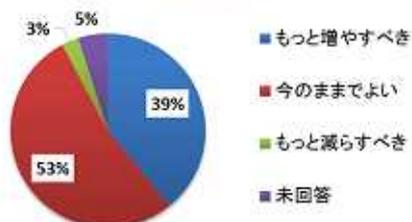
コミュニティバスの運賃(運転する)
n=424



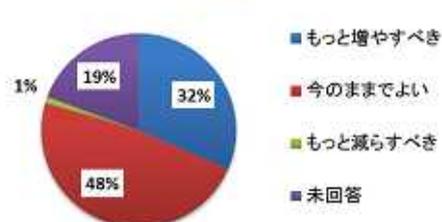
コミュニティバスの運賃(運転しない)
n=98



コミュニティバスの本数(運転する)
n=424



コミュニティバスの本数(運転しない)
n=98

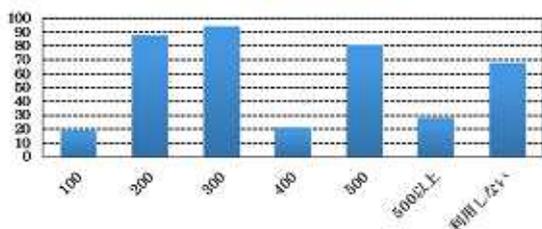


- ・ いずれも大きな違いは見られない
- ・ いずれも運転しない人の方が回答が未回答の割合が多い。

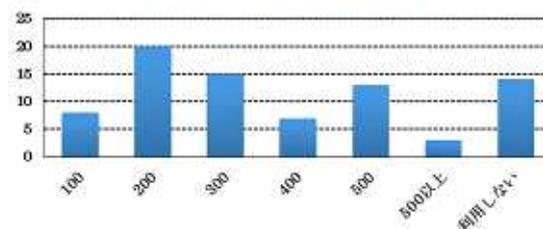
運転する人と運転しない人（公共交通の利用可能性が高い）ごとの新交通手段に関する集計（問2と問9）

運転しない人とは（免許はあるが運転しない人、免許をもっていない、免許を返納した人を指す）

新交通手段の運賃(運転する)
n=399 平均値=351円

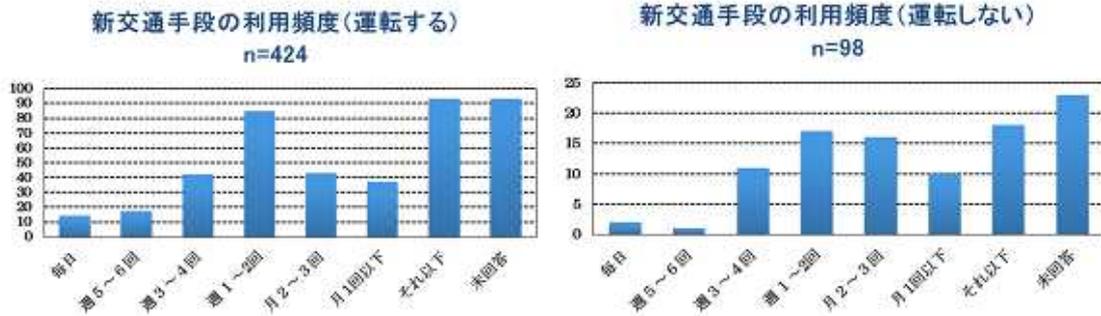


新交通手段の運賃(運転しない)
n=80 平均値=313円



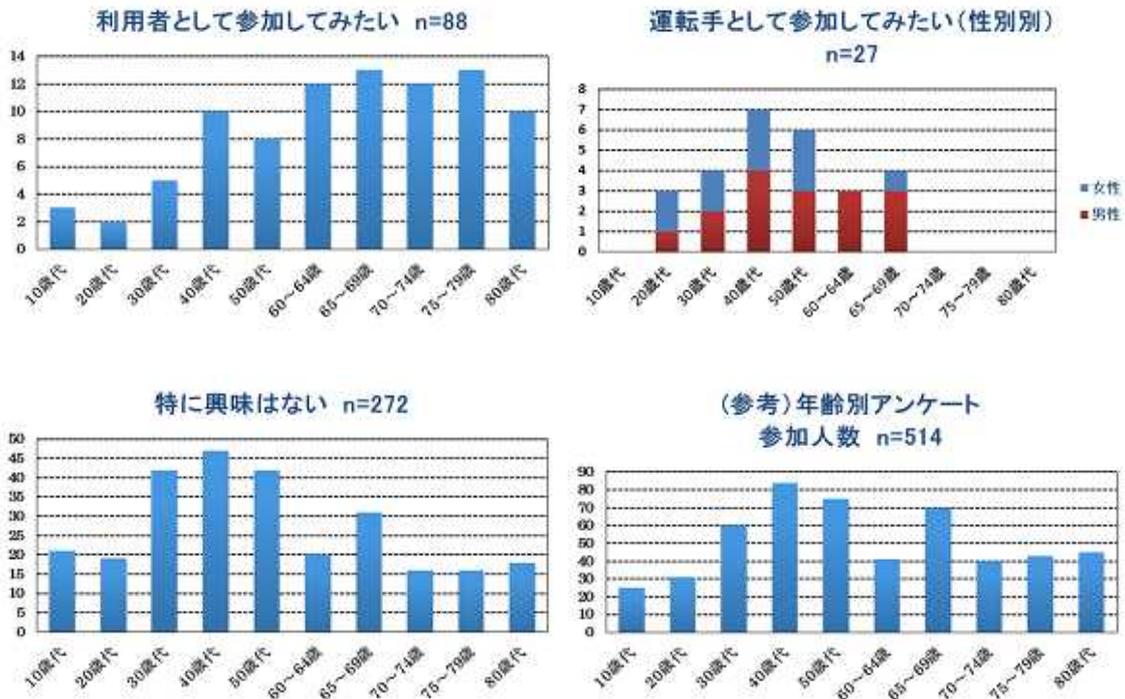
500円以上は700円とした。

- ・ 運転しない人の方が高い運賃を希望しないため40円ほど平均値が低くなった。



・運転するかしないかの差は利用頻度に大きく影響しない。

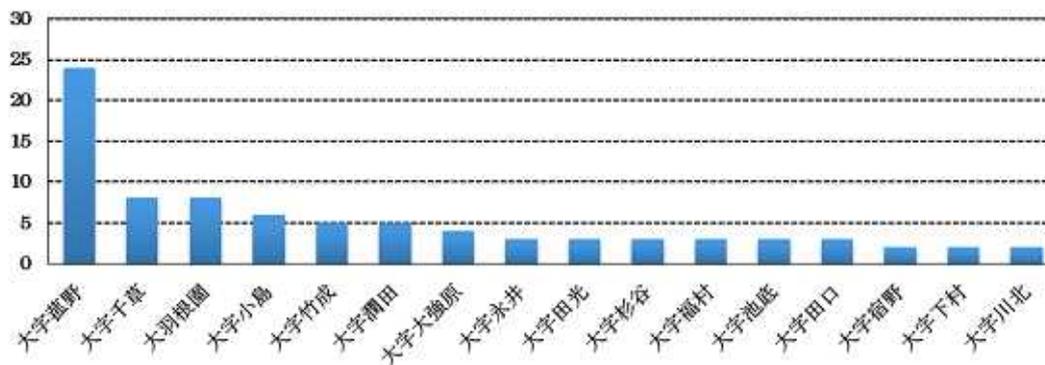
年齢別のあいあい自動車への興味に関する集計(問2と問13)



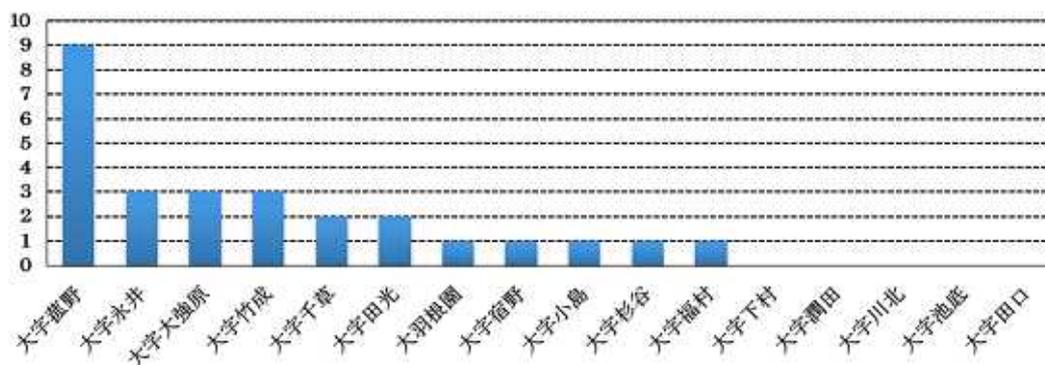
- ・利用者として参加してみたい人の割合は高齢者の方が多い。
- ・運転者として参加したい人は40~50歳代で多く見られる。
- ・運転者として参加してみたい人の割合は男女で差がない。
- ・興味はない人の割合はどの年代でも一緒である。

住所別のあいあい自動車への興味に関する集計（問2と問15）

利用者として参加してみたい n=84



運転手として参加してみたい n=27



- ・人口の多い菟野地区で参加してみたい人が多い。
- ・運転手として参加してみたい人は竹永、鵜川原地区に多い。